

科目名	無機化学		英文表記		Inorganic Chemistry		平成23年3月14日	
科目コード	6408							
教員名：濱田泰輔 技術職員名：							作成	
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・生物資源工学コース			専1	選	学修	2単位	講義	後期
目標 及び 評価方法	目標項目				評価方法及びその割合			
	①無機化学の基礎を習得する。				①無機化学について問題を出し、理解度により評価する。 (30%)			
	②錯体化学の基礎を習得する。				②錯体化学について問題を出し、理解度により評価する。 (30%)			
	③金属元素と生物の関連を理解する。				③金属元素と生物について問題を出し、理解度により評価する。 (20%)			
	④金属元素と環境の関係を理解する。				④金属元素と環境について問題を出し、理解度により評価する。 (20%)			
高専 目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	生物資源工学		
	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			JABEEプログラム教育目標	A-2, B-1		
授業概要、方針、履修上の注意	生理学、医学、薬学へ応用される生物無機化学。材料科学、電気/電子工学へ応用される固体化学、固体物理化学の基礎となる無機化学を講義する。 遷移金属元素を含んだ無機化合物の機能を解説し、無機物質と生物や環境との接点を理解する。							
教科書・教材	無機化学-その現代的アプローチ- (東京化学同人)							
授業計画								
回次	授業項目	時間	授業内容				予習項目	
1	化学結合(1)	2	共有結合と分子軌道法				MO法	
2	化学結合(2)	2	化学結合と分子の構造				分子構造	
3	遷移元素と希土類元素(1)	2	遷移元素各論				遷移金属元素	
4	遷移元素と希土類元素(2)	2	希土類元素と有機金属化合物				希土類金属	
5	配位化学(1)	2	配位化合物と配位結合				錯体	
6	配位化学(2)	2	錯体の構造				錯体の構造	
7	配位化学(3)	2	結晶場理論と配位子場理論				錯体の電子状態	
8	配位化学(4)	2	電子状態と反応				電子状態	
9	中間	2						
10	生命と無機化学(1)	2	生体に関連した金属元素				金属酵素	
11	生命と無機化学(2)	2	バイオミネラリゼーション				生物無機化合物	
12	生命と無機化学(3)	2	無機生体材料と化学進化				生体材料	
13	環境と無機化学(1)	2	地球環境における無機物質				環境と無機化学	
14	環境と無機化学(2)	2	光触媒				光化学反応	
15	環境と無機化学(3)	2	ゼオライトの性質と応用				向き固体触媒	
期末	期末試験	[1]						
学習時間合計 30			実時間 25					
学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など) 各回、講義後にレポートを課す。								

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)